

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川県少年更生支援センター(仮称)半開放寮	階数	地上1F
建設地	神奈川県相模原市中央区小山4丁目788-1外	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	117人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2023年06月13日
敷地面積	10,451 m ²	作成者	一級建築士事務所 株式会社 東畑建築事務所 本社オフィス 東京
建築面積	3,387 m ²	確認日	2024年02月19日
延床面積	2,268 m ²	確認者	法務省大臣官房施設課



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 76% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 76%

④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.6)

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	2.8
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.5)

機能性	1.6
耐用性	2.9
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.5)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.3)

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.1)

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

地球温暖化	3.9
地域環境	2.7
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項	
総合	橋本駅から徒歩で約22分の第二種住居地域に少年院が計画されその一部として半開放寮を計画した。
その他	特になし。
Q1 室内環境	住居部分:1.25%≦[昼光率]。 建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍となっている。
Q2 サービス性能	住居・宿泊部の天井高2.5m以上。 ステンレスダクトを使用している。 給水SUS(C)、給湯SUS(C)、冷媒(C)を使用。
Q3 室外環境 (敷地内)	特になし。
LR1 エネルギー	BPI=0.78。 [BEI][BEIm]=0.71。
LR2 資源・マテリアル	「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率76%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される